



令和3年度第1号



サンフランシスコ日本語補習校 理事会通信

2021年4月15日

理事長あいさつ

松浦克次 理事長

本校の大きな特徴はアメリカにありながら日本語で日本の文化を学べるところにあると私は思っています。日本語で授業を受けるといふ言語の部分もちろん大切ですが、日本文化を学ぶことも近年では更に重要度が増しているように感じます。



ここ補習校にはそういった複数の文化を理解しているバイカルチャー、マルチカルチャー人材が育ちやすい環境があります。将来、本校で学ぶ子供たちが国際舞台で必要とされる日が来ることを想像すると、理事として補習校に携われることを誇りに思います。

今年はオンラインでスタートを切ることになります。「点」と「点」の繋がりとは過去を振り返った時にしかわからない。だから今やっていることが将来の「点」として実を結ぶと信じて進むしかない。」というスタンフォード大学での故スティーブジョブズ氏による卒業式スピーチの一節が好きで、よく思い出します。

コロナ禍の今、社会は良い状況とは言えません。補習校も同様です。しかし今、子供たちに何をしてあげられるのかに注力し、将来に繋がる「点」を打ち続けることが必要だと思います。そして将来、今日という日を振り返った時にその「点」が実を結ぶことがあると信じ、学校、保護者が手を取り合って一歩ずつ進んで行ければと思います。

今年一年、どうぞ宜しくお願い致します。

校長あいさつ

土屋和也 校長

アリゾナ州・グランドキャニオンの脅威の景観は、主にコロラド川の浸食により600万年の時間をかけて形成されたと考えられています。平均の谷の深さは1200mあり、東にロッキー山脈、西にシエラネバダ山脈の激しい地殻変動に挟まれながらも、コロラド高原が穏やかに隆起してきたことで、水平に堆積された美しい地層が奇跡の絶景を生み出しました。



現在、日本の学校教育は穏やかには見えますが、大きな変革の時期を向かえています。社会の変化に対応し生き抜くために必要な資質・能力を備えた子どもたちを育むことを目指し、学習指導要領の改訂が行われました。その中で学力の3要素「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に着目して授業改善が行われています。私たち補習校の学習でも、この3つの観点で授業をすすめ、将来役に立ち、日本人のアイデンティティを理解し「いつか世界の懸け橋に」なることを願っています。しかし、昨年から長く続いたコロナ禍での生活は、「将来役に立つから、しっかり勉強しようね」では、心の折り合いがつかなくなっているのではないのでしょうか。標高2000mのグランドキャニオンを目の前にした時の、その奥行きや深さや広大な横の広がり、谷の深さというダイナミックな3Dの視覚的な面白さや、風の音や冷たさ、匂いはオンラインでは感じる事ができないものだと思います。今年度の授業のスタートはオンラインにて実施しますが、子どもたちにとって、一つでも多く学びの実感がもてる授業をつくっていきたくと考えています。

本校の今年度の重点目標は「日本語で学ぶ楽しさを感じる授業」です。

今を生きる子どもたちが、ワクワク・ドキドキする瞬間や経験を味わい、輝いて生きていることを実感する補

習校を目指したいと思います。

新理事所感（役員・五十音順）

金子さと恵（副理事長・法務委員長）

昨年度に引き続き理事会に参加させていただくことになりました。

オンライン授業、授業の録画など学校に通えない状況が一年と続く中、どのような状況であっても子供達に日本語教育を尽力されている先生方をはじめ多くの保護者の方々と共に、少しでも補習校の運営や発展にお役に立てるよう微力ながら精一杯努めて参ります。



高橋慶太（財務役・財務委員長）

「やまなみ」もちゃんと目を通してないし、理事会というものが何をする集まりなのか全く知らない自分ですが、人が足りないということで今年から入ることになりました。おそらくこんな空気の読めない素人だからこそ出来ることもあると思うので、自分なりに頑張ろうと思います。



佐伯あや（監査役・総務委員長）

今年度も、オンライン学習でのスタートとなりました。このような困難な状況でも、希望を持って日本語および日本文化の学習を一生懸命続ける子供たち、実際の教室と変わらない授業を行うために文字通り昼夜を問わず心血を注いでくださる教職員の皆様、そして背景でさまざまな変化への対応をしてくださる事務局やITボランティアの皆様を少しでもサポートできるよう、理事会の一員として尽力する所存です。

一年間よろしくお願いいたします。



斎藤千尋

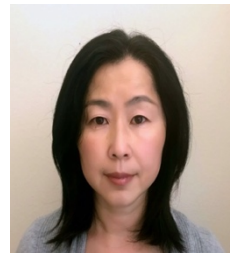
昨年度に引き続き理事会に参加させて頂くことになりました。サンフランシスコ校に中1と小2の娘がお世話になっています。私自身も昔、NYにて日本語補習校に通った時期があります。



まだまだコロナ禍で先の見えない中での今年度スタートとなっておりますが、この体験も全て、世界へ羽ばたく子供たちの成長の糧となることを願ってやみません。誠に微力ですが、今年度もどうぞよろしくお願い致します。

田中真左子

本年度よりサンフランシスコ保護者会 副会長として理事会に参加させて頂くことになりました。新型コロナウイルスとの戦いも新しい局面に入り、明るい兆しも見えてまいりました。子供達に一日も早く安全に、安心して学べる環境が提供できるよう、補習校の運営に微力ながらもお役に立てればと思っております。一年間どうぞよろしくお願い致します。



壇洋一郎

今年度も理事会のお手伝いをさせていただくことになりました。小学校5年生の長男と小学校1年生の次男がサンノゼ校でお世話になっています。子どもたちが充実した学校生活を送れるように、理事会の活動を通して補習校の運営のお役に立てればと思っています。一年間どうぞよろしくお願い致します。



外山史晃

今年度、サンノゼ校保護者会会長と併せて理事を務めさせていただきます。現在二度目のアメリカ生活中で通算すると18年、子供が補習校に通い出して6年目になります。

さて、ここで自己紹介文を書いて



も今これを読んでいるのは補習校への理解や思い入れが強い方、もしくは"たまたま"リンクを押していただいた方のどちらかであり、大半の方は今までの私がそうであったように理事会のことをよく知らないし、そもそも理事会と保護者会の区別もつかない、という現状だと思います。

せっかく理事をやらせていただく機会を得たので、全ての保護者、及び学校関係者に理事会の活動を理解していただき、「補習校のあるべき姿、目指すものは何か？」という点において衆智を集めて取り組みたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします！

齒黒成人

昨年4月には、オンライン授業サポートメンバーにより、Google Classroom、およびZoomの環境を整えていただきました。また、10月にはSystem50協議会メンバーにより、Slackを用いた「補習校ポータル」の基本部分が導入され、今年度のオンライン授業の準備は80%が自動化されました。今年はコロナ後も見据え「日本語で学ぶ楽しさを感じる授業」を支える安全で統合された補習校システムを目指したいと思います。システム構築に携わるメンバーは随時募集していますので、まずはSlackのDMでお知らせください。引き続きご家庭でのお子さまの学習支援をよろしくお願いいたします。



林俊之

本年度より、理事会に参加させて頂くことになりました。中学3年生の息子と小学6年生の娘がサンフランシスコ校に通っており、今年で補習校も9年目となりました。

皆様も御存知の通り、昨年度は大変なチャレンジを強いられた補習校ですが、結果的に新しい取り組みを成功させることができ、改めて保護者の皆様や先生方から支えられている補習校のコミュニティの強さを感じました。

今年度もまだ先が見えない状況はしばらく続くと思いますが、理事会の活動を通して、補習校コミュニティのさらなる挑戦、発展に貢献できればと考えていま



す。一年間よろしくお願いいたします。

武藤結花

2021年度、理事会に参加させていただきます、武藤結花と申します。

昨年来、「新型コロナ」という難面に直面し、異例の新しい形での学校運営が続いております。日に日に状況が変化する先行き不透明な中、子供たちの安全と安心を最優先に、「世界の架け橋」となる子供達の明るい未来を目標に、理事会活動に取り組んで行く所存です。

また、子供達の輝く笑顔と笑い声が、一日も早く教室に戻れる日が来るように、このコロナ禍を乗り越えて行きたいです。皆様のご助力、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



山神翔子

2021年度のサンノゼ保護者会副会長として理事会に参加させていただくこととなりました。サンノゼ校の3年生に息子が、幼稚部に娘がお世話になっております。

昨年度に続きオンラインでのスタートとなりますが、子供達だけではなく親子揃って楽しんで補習校に通えるように尽力したいと思っています。この状況で臨機応変に、変更等に対応して少しでも補習校の運営のお役に立てるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



事務局よりお知らせ

人事異動

退職	幼 SF 教員	清水順子	3/31 付け
退職	小 SF 教員	馬屋原法子	3/31 付け
退職	小 SF 教員	村上良子	3/31 付け
退職	小 SF 教員	田中理恵	3/31 付け
退職	幼 SJ 教員	平野孝栄	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	メーソン公子	3/31 付け
退職	幼 SJ 教員	近藤真知子	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	山田和子	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	岡村裕子	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	ウォルバートミキ	3/31 付け
退職	小 SJ 教員	永山文江	3/31 付け
退職	中高 SJ 教員	増石哲也	3/31 付け
採用	幼 SF 教員	福本規子	4/1 付け
採用	幼 SF 教員	曾我絵里	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	レングレット真弓	4/1 付け
採用	小 SJ 教員	前田陽子	4/1 付け
採用	中高 SJ 教員	塩谷満優子	4/1 付け
異動	幼小 SF→中高 SF	岩政久美子	4/1 付け
異動	幼小 SJ→幼小 SF	菅原路代	4/1 付け
異動	幼小 SJ→中高 SJ	水澤隆子	4/1 付け

4 月～5 月の行事予定

日付	サンフランシスコ校	サンノゼ校
4/3(土)	入学式・始業式	入学式・始業式 学級懇談会 (SJ 校 : 幼稚部・小 1)
4/10(土)		学級懇談会 (SJ 校 : 小 2～4)
4/17(土)		学級懇談会 (SJ 校 : 小 5～6)
4/24(土)		中学部入学試験説明会 (幼小部)
5/1(土)	保育/授業参観・学級 懇談会 (幼小部)	
5/8(土)	中学部入学試験説明 会 (幼小部)	

5/15(土)	授業参観・学級懇談 会 (中高部) 高等部進学説明会 (中高部)	授業参観・学級懇談会 (中高部) 高等部進学説明会 (中 高部)
5/29(土)	前期中間テスト (中 高部)	

「やまなみ」はサンフランシスコ日本語補習校理事会により
月 1 回発行されます。 発行人：松浦克次
San Francisco Japanese School 22 Battery Street, #612,
San Francisco, CA 94111
電話：415-989-4535 FAX：415-989-2542 電子メール：
理事会・事務局 office@sfjs.org 学校 sfjs@sfjs.org
ホームページ：<http://sfjs.org/>
理事会および学校事務局へのご意見・ご質問等を歓迎します。
匿名でのお問い合わせ等にはお答えしておりません。
無断複製・転載を禁ずる。© San Francisco Japanese School
2021 All Rights Reserved.